



拡大版

鉄道で つながる いこが



JR 紀勢本線

亀山
かめやま

関
せき

加太
かぶと

亀山市

柘植
つげ

あぶらひ
油日

坊谷隧道(トンネル)

長さ 163 m、西側の入り口は、要石付きの馬蹄形断面アーチの両脇に壁柱を立ち上げ、上部の笠石と帯石の間は、れんがを長い面の段と短い面の段を交互に積み上げる「イギリス積み」という重厚な造りとなっています。



板屋川橋梁

長さ 35.4 m、2 連の桁橋で、加太側に約 13 m、柘植側に約 22 m の鉋桁を深い谷に掛けています。橋脚は石材を膨らみのある「こぶ出し」に仕上げ、下部を五角形断面として、増水時の抵抗を減らす工夫がされています。



リニア中央新幹線

亀山市では、「リニア中央新幹線・JR 複線電化推進亀山市民会議」を中心に停車駅誘致に向けた積極的な運動を展開しています。



伊賀市・亀山市・滋賀県甲賀市の3市による連携記事「となりまちい・こ・か」は2011(平成23)年2月1日号から連載を始め、各市のさまざまな魅力を発信しています。

今回は、拡大版として鉄道遺産を中心に鉄道の魅力を紹介します。

鉄道に乗って、となりまちへいこか！

社紋部分

国分橋梁

JR 草津線は、京都～名古屋を結ぶ幹線の一部として、1890(明治23)年に関西鉄道(株)が敷設しました。橋梁のアーチ上部に同社の社紋が残る貴生川駅～三雲駅間の国分橋梁は全国的にも珍しい橋梁です。

しのびとれいん SHINOBI-TRAIN



忍者が潜む
つりかわ



SHINOBI-TRAIN

JR 草津線と信楽高原鐵道には、忍者ラッピング列車が運行しています。JR は黒の車両に、信楽高原鐵道は緑と紫の車両に、忍者のシルエットに流線模様が施された躍動感溢れるデザインになっています。列車内にも忍者テイストのデザインがあしらわれ、乗客が楽しめる車両になっています。



柘植駅の西側には、開業当時のランプ小屋が残っています。ランプ小屋とは、車両や駅舎に使われた照明用ランプや燃料などを収納していた倉庫のことです。



危険物を保管することから頑丈なれんが造りになっています。



柘植駅ホーム

柘植駅は、1890 (明治 23) 年 2 月 19 日、三重県下初の鐵道駅として開業しました。1 番線のプラットホームは、「フランス積み」という、一段にれんがの長い面と短い面を交互に積む全国的にも珍しい造りです。

伊賀上野

伊賀鐵道には、「銀河鐵道 999」などの作者で知られる松本零士さんがデザインした「忍者列車」が走っています。

忍者列車



©松本零士

問い合わせ

【鐵道についての問い合わせ】

伊賀市交通政策課
☎ 22-9663
FAX 22-9852
亀山市商工業振興室
☎ 0595-84-5049
FAX 0595-82-9669
甲賀市公共交通推進課
☎ 0748-69-2215
FAX 0748-63-4601

【いこかについての問い合わせ】

伊賀市広聴情報課
☎ 22-9636
亀山市広報秘書室
☎ 0595-84-5021
甲賀市広報課
☎ 0748-69-2101